

「ヘッジファンド(アルファ戦略)の効用」について

「ヘッジファンド(アルファ戦略)」と聞いて何をイメージしますか？

ヘッジファンドについて、「よくわからない」という声が多く寄せられています。そこで、当資料ではヘッジファンドの基本的な概念についてご紹介します。



※イメージ図です。

ヘッジファンド(アルファ戦略)とは…

- ヘッジファンドとは、ヘッジ(リスク回避)しながら、一般的に市場動向に左右されることのない安定的な収益の獲得をめざすファンドです。
- ロング・ショート、マーケット・ニュートラルなどと呼ばれる戦略が代表的です。

■当資料は、日興アセットマネジメントが「ヘッジファンドの効用」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。

では、何故ヘッジファンド(アルファ戦略)に投資するのでしょうか？

ヘッジファンド(アルファ戦略)に分散投資する理由とは・・・

市場変動に対する「3つのクッション」

具体的には・・・

①収益安定化のクッション

世界の株・実物資産下落局面・・・世界株式にくらべポートフォリオの下落を緩和しています。(正の効果)
 世界の株・債券・実物資産上昇局面・・・世界株式にくらべポートフォリオの上昇を抑制しています。(負の効果)

資産(組入れ比率)	世界の株、実物資産の下落局面 (2002年1月～12月)	世界の株、債券、実物資産の 上昇局面(2006年1月～12月)
世界株式(25%)	-28.3%	20.1%
世界債券(25%)	8.2%	7.3%
実物資産(世界不動産、25%)	-2.3%	40.4%
ヘッジファンド(アルファ戦略、25%)	3.4%	4.1%
ポートフォリオ	-5.4%	18.0%

②リスク低減化のクッション

ヘッジファンドなどを組入れることにより、ポートフォリオのリスクは世界株式の半分程度となっています。

資産(組入れ比率)	リスク(年率)
世界株式(25%)	14.9%
世界債券(25%)	6.6%
実物資産(世界不動産、25%)	14.0%
ヘッジファンド(アルファ戦略、25%)	2.8%
ポートフォリオ	7.2%

(2000年1月～2007年3月)

※グラフ、データは過去のものもしくはシミュレーションの結果であり将来の運用成果などを約束するものではありません。
 ※日興アセットマネジメントが行なったシミュレーションの結果(円ベース)です。
 ※各月毎に対象となる4指数(資産)を25%ずつ均等に組入れ投資を行なったと想定しています。
 ※4資産指数は、世界株式はMSCIワールド、世界債券はシティグループ世界国債インデックス、世界不動産はS&PグローバルREIT指数、ヘッジファンドはCSトレメント指数(円ヘッジ)です。

③アルファ戦略安定化のクッション

- ・過度なレバレッジを効かせた商品は排除することで、過度にリスクをとることなく、安定的なリターンをめざす運用会社を厳選します。
- ・アルファ戦略に為替ヘッジを行ない、価格のみでなく為替変動リスクの低減を図ります。

以上

■当資料は、日興アセットマネジメントが「ヘッジファンドの効用」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。